

「休暇、勤務時間、労安に関する調査」速報 多忙化解消のため 教職員定数の改善を！

高教組が8月末から9月にかけて実施した「休暇・勤務時間・労安等調査」の結果、多くの学校で、長時間勤務の実態が明らかになりました。改善のためには、教職員定数の改善と業務のスリム化、そして私たち一人ひとりの意識改革が必要です。また、8月から導入されたタイムカードについてかなり多くの意見をいただきました。最終的な集計結果の詳細については分析後お知らせします。

【分会調査】

1. お盆期間の学校閉庁日の設定はどうでしたか。

① 3日間（8月13日～16日の間）、学校閉庁日とした	67	87.0%
② 3日間（8月13日～16日以外の間）、学校閉庁日とした	1	1.3%
③ 4日間学校閉庁日とした	4	5.2%
④ 学校閉庁日を設けなかった	1	1.3%
⑤ その他	4	5.2%
計	77	

2. お盆期間の学校閉庁日の対応はどうでしたか。

① 閉庁とし全職員休暇をとった	63	81.8%
② 管理職で対応した	8	10.4%
③ 閉庁とせず教職員の当番で対応した（部活・課外はなし）	0	0.0%
④ 夏季休業中の他の日と同じ対応で部活・課外等があった	0	0.0%
⑤ その他	6	7.8%
計	77	

今年度から設定された学校閉庁日について、「学校閉庁日を設けなかった」の1校（定時制）についても、「各自の都合で年次を取得した」と回答しています。学校閉庁日を「管理職で対応した」が8校ありました。

5. 昨年度に比べ「業務の改善」がなされたものがありますか。（複数回答可）

① 会議や決裁システムの見直し	10	11.4%
② 業務の平準化や組織間の連携強化	7	8.0%
③ 分掌の整理統合	4	4.5%
④ 業務の外部委託	3	3.4%
⑤ 課外・資格取得指導などの精選	6	6.8%
⑦ 改善されたものはない	53	60.2%
⑧ その他	5	5.7%
計	88	

「岩手県教職員 働き方改革プラン」が策定されたのが、6月19日であることから、県や各校でのとりくみの効果が現れるまでには、もう少し時間が必要と思われます。

タイムカードについてのおもな記述

- ・一か所にしか機械がないのは問題。せめて体育館にもう一台。
- ・部活指導後のタイムカード、煩わしいことが多い。
- ・結局7時頃に打刻し、その後残って仕事をしている職員もいるので、正確に残業時間を把握出来ないと考える。